

屋内活動

プログラム名(コース名)	ジェルアート ※団体主導			
概要	浜名湖で拾った貝殻を使って、カラーサンドで飾り付けを行い、オリジナルの作品を作る。			
ねらい	貝殻を使って、創造する喜びを味わうことができる。 創意工夫をして、オリジナルの作品を完成させることができる。			
条件	対象	全年齢	人数(指導者人数)	～200人(2人以上)
	活動時間	60～90分	活動時期	通年
	活動場所	研修室等	費用	1個400円
	下見	不要	活動名簿提出	不要
持ち物・準備	(個人) 筆記用具、貝を拾いに行くときの帽子、合羽 (団体) 貝を拭く用のタオル			
安全上の留意点 (具体的な対策方法)	割れたガラスや貝殻によるケガ(道具の取扱いに注意する) 火傷(クリアジェル加熱時、IHヒーターの周りに近づかない) 砂などが目に入る、誤飲			

活動内容(手順)

事前①指導者配置の決定: 製作手順の説明、巡視指導、研修生への指導

②実施方法の決定: 活動時間・休憩時間の設定、製作する数量

③研修生への事前指導: 「概要」「ねらい」「安全上の留意点」等を指導、服装や持ち物を確認

活動前①確認事項: 人数、健康状態、貸出備品、準備

活動①指導: 指導者より

②活動開始: 作り方については裏面「ジェルアートの作り方」を参照

・湖岸で貝殻を拾う。可能であれば前日までに拾っておき、洗ってよく乾かしておく

※雨天時は青年の家にある貝殻を使用するが、貝殻が拾える時間があれば拾って返す

※貝殻をさわった後は、石鹸できれいに手を洗う

・ガラスに砂を入れて空気を抜く

・貝殻やビー玉など砂の上に飾り付けをする

・ガラスに名前を書いた付箋をセロハンテープで貼る

・ジェルを注いで固まったら完成

※ジェル入れは所員が行う

※退所日の活動の場合、ジェルが固まるまでの時間(60分程度)を考慮しないと当日持ち帰れない場合がある

(全員分固まらなければ後日受け取りにきていただく)

③確認事項: 人数、健康状態

④振り返り: 活動の感想を発表

⑤片付け: 備品の返却と確認、活動場所の原状復帰、清掃

(※備品の片付けは所員も一緒に実施。担当所員へ声掛けをする。)

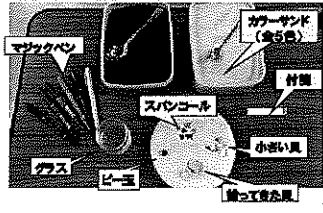
⑥報告: 所員へ終了、研修生の健康状態を報告

## ジェルアートの作り方



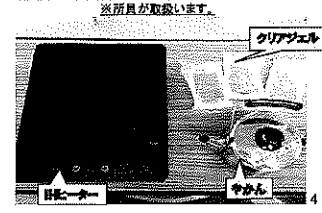
1

## 活動備品①



3

## 活動備品②



4

## 事前に貝を拾いに行く

①海岸で小さな貝を拾う ※軍手を活用する。  
②拾った貝を産地裏側の水道で洗いたオルで水気をふき取る。



4

## カラーサンドを入れる



※1度ガラスに入れた砂は戻さない。  
※タッパーの中に入っているスプーンでそれぞれ砂を入れる。  
※スプーンでガラスの中の砂を混ぜない。  
※新聞紙を下に敷く。

5

## コップの底を軽く叩いて空気を抜く



※砂の間の空気をしっかり抜かないと、ジェルを注いだ時に気泡が発生する。

6

## 飾りつけを行う

ガラスの中には  
(・拾った貝・ビー玉1個まで・スパンコール3粒まで・小さい貝3個まで)を飾る。

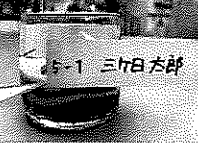


※コップからはみ出さないようにする。  
※貝に字や絵を書いてもよい。

7

## 完成したガラスを所員に渡す

付箋にガラスと名前を書き、ガラスに貼る



付箋が外れないよう、セロテープを上から貼る

※ジェル入れは所員が行います。

8

## 片付け、注意喚起のお願い

使用したマジックペンの片付けをする  
床に落ちた砂等を拾い、ゴミ箱に捨てる



元あったように、色ごとに整理して戻す。

※加熱したジェルは高温になるため、近づかない、触らないよう声掛けの実施をお願いします。

9

## ジェルが固まったら完成



※固まるまでの目安時間(約60分)

10